

第三十三回

熊本城（熊本県熊本市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

熊本市賞

散紅葉吾もひとひらのもみじかな

熊本県宇土市 鎌田 順子

特選二句

黄一つ光放つや秋のばら

熊本県熊本市 上田 幸子

名月にひたりて肥後の馬刺かな

熊本県熊本市 角田 光明

投句総数 二十六句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「柿」主宰 横田 青天子 選

奈良・斑鳩町賞

野仏の石の上にも鏡餅

奈良県生駒郡平群町 藤田 政江

特選三句

初鴉日の出の日矢は八方に

奈良県生駒郡斑鳩町 内田 良平

天平の菩薩と対座冬ぬくし

奈良県北葛城郡河合町 荻野 鷹生

飛火野の鹿より濡れてゆく時雨

奈良県天理市 松田 吉上

投句総数 六十二句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

子規はいく賞三句

雨あがる晩秋の日の明治村

長野県伊那市 市川 光男

明治村紅葉が散って色いっぱい

愛知県あま市 小椋 智尋

文豪の今は語らず暮の秋

愛知県蒲郡市 矢田 康雄

特選三句

秋日傘いろとりどりに明治村

愛知県名古屋市

鬼頭

愛

冬ざれて漱石の猫いだきけり

滋賀県彦根市

段林

ひろみ

ひらひらと雪がおどってやってきた

東京都文京区

南

奏良

投句総数

九十句

開函日

平成三十一年一月三十一日

第三十三回

子規庵（東京都台東区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

黴も無く仰臥漫録のこりたる

兵庫県神戸市 延吉 富子

文机へ春日を置ける子規旧居

東京都杉並区 寺澤 佐和子

花街を抜けて子規庵冬ざるる

奈良県生駒市 横田 明美

投句総数 三十六句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

記念艦 「三笠」 (神奈川県横須賀市)

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

冬の海マストに乙旗大将旗

群馬県伊勢崎市 天野 幸尖

雨あがり晴れ渡る青冬の空

東京都調布市 野間 恒毅

立冬の三笠の勇姿旭日旗

神奈川県藤沢市 室 明夫

投句総数 四十二句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選二句

紅葉散る大和の船に名を残し

和歌山県日高郡由良町 坂田 妹子

ガラス越し大和輝く秋の海

兵庫県西宮市 まえだ たまき

投句総数 四十二句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

猫塚に冬日こぼるる漱石忌

東京都練馬区 金子 ふみ子

額装に漱石の文字あたたかし

東京都三鷹市 金田 志津枝

草稿のインクの染みや漱石忌

東京都板橋区 望月 とし江

投句総数 八十二句

開函日 平成三十一年一月三十一日



第三十三回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選一句

白虎隊あゝ白虎隊雪の散る

神奈川県相模原市 中村 浩巳

投句総数 二十四句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

東松山市（埼玉県東松山市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

寄鍋や愚痴は何処かに置き忘れ

埼玉県東松山市 大井 津由子

すぐ笑ふ爺の作りし木の実独楽

埼玉県東松山市 大井 正行

任侠の仁義が泣かす村芝居

埼玉県東松山市 小峯 知治

投句総数 十四句

開函日 平成三十一年一月三十一日

第三十三回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

俳句のまちあらかわ賞

日暮里の羽二重団子春隣

山梨県南都留郡山中湖村 ローゼン 千津

特選三句

秋の灯やひらがなばかり母の文

東京都荒川区 高安 政江

風花や出湯の町に降り立ちぬ

東京都荒川区 谷井 千絵

音もなく風もなく冬晴るる朝

東京都荒川区 町田 美幸

投句総数 二十九句

開函日 平成三十一年一月三十一日